

私が尊敬する人

3年 D・T・

皆さんにとって、尊敬する人はどんな人ですか。皆さんもきつと

います。中には、有名人やプロのスポーツ選手などを挙げる人も多い

ではないでしょうか。私ももちろん尊敬している人がいます。し

かし、有名人やプロのスポーツ選手などではなく、岩室中バスケットボール部出身の先輩

です。

忘れられない言葉

その人とは2年前の春、私が中学1年生の時に岩室中の体育館で初めて会いました。第一印象はとても怖いというものでした。

私はドキドキしながらいつもどおり部活の練習に参加しました。当時の私はあまりバスケットが好きではない時

で、全力で部活をしていませんでした。そんな私にその人はこんな言葉を言ってくれました。

「目標をもつて、それに向かつて全力でやらないと上手くならない。」

その人のプレーは全力でやりながらも、笑顔で、とてもバスケットを楽しんでいるのが分かるようなプレーでした。私はそのようなプレーを自分もしてみたいと思いました。

またその人は、私たちにこんな言葉もかけてくださいました。

「声を出して盛り上げてやった方が絶対楽しいよ。」

しかし、私はミニバス時代にも似たようなことをコーチから言われ、声を出しても楽しいとは心からは思いませんでした。ところが、中学のバスケットはまた雰囲気違って、声を出して盛り上げていけばいくほど本当に心から

楽しいと思えてくるのです。

それから私は、声を出すことを意識し、大きい声で盛り上げることを、引退するまでし

つかり続けることができました。その人の言葉で、自分の意識が変わったのです。

こうして私は、その人のおかげで、もつとバスケットの楽しさを知ることができました。考

えれば、先生方や外部コーチ、先輩からもバスケットの楽しさを教えて

いただいたと思います。

部活は休憩が何度かあるのですが、その休憩の時にその人は私だけに「水一口飲んだら

来い。」といつも声をかけてくださいました。尊敬している人からそんな言葉を言われ、とてもうれしい気持ちになりました。

その時は本当に多くのことを学び、毎回ワ

クワクワしてその人から教わっていたことを覚えていきます。

しかし、こういったことはずっと続かず、2年生の冬でその方は

仕事などが忙しくなくなり、もう教えには来られないことになりました。

とても驚きました。その時は、今までの思い出がよみがえり、とても悲しかったです。

その人は最後に僕に「今までありがとう。頑張れよ!」と言って

くださいました。この言葉から、今までたくさん

のことに感謝の気持ちを感じました。

だから、その人は私にバスケットの楽しさを今までよりもたくさん教えてくださった人であり、私にとって尊敬する人なのです。

自分をステップアップして目標達成を目指す

私はその人がかけてくれた言葉全てがとも

も好きなので、私が部活に行った時は、1、2年生に言っています。な

ぜなら、その言葉によって私と同じように意識

が変わってくればと思っ

ています。私は尊敬している人がいるならば、自分の考えや意識は変わり、

更に自分自身がステップアップすることができると思っています。

人それぞれ尊敬している人は全く違うと思います。尊敬している人がいるということ

はとてもいいことだと思っ

ています。私はこれから、志望する高校に合格するよう努力

し、高校でもバスケットを続けたいと思っ

ています。尊敬している人の思い出を忘れず、その目標が達成できるよ

うに一歩ずつ前進していき